

1月の大雪は大変だった。家の雪をかき、また職場で雪をほる。その職場の車庫の前の雪を向かいのおじさんが雪のけしてくれていた。寡黙なおじさんで日ごろはたまにあいさつくらい（私もシャイで）。「ありがとうございませう」と投げると素敵な笑顔を返してくれる。笑顔が沁みる…地域でくらすそのつながり…そのおもいに重なる『75歳以上窓口医療費2割負担対署名』にたくさん名前が繋がった。共に生きぬく。その根底の願い～『命は平等』。欧州では戦後焼野原で真っ先に医療費無料の国民保険が出たと聞いた。今このコロナ禍で誰が何を大切にしているのか透けて見えてくる。雪解けの水がしみるようにつなげたい。『命は平等』。



2020. 10 坂井東支部学習会より

完結 安達先生コロナ学習会

■コロナ予備費 10兆円がどこに行ったか知りませんが、要するに保健所がハンザイした、このまま冬になって、パニックになったら政府が攻撃される、政権の維持にかかわる、そこで「よし、かかりつけ医に責任をうつしてしまえ」ということの方針転換したんです。それは PCR センターをつくるより安いです。■かかりつけ医は本当のこと言いますとね、春先のコロナでみんな怖がっていました、医者に行くとうつるんじゃないかといううわさがあったり、健康診断もするなというのもあったりして、どこも空いていません。特に小児科とか、眼科・耳鼻科はかなり患者さんが減った。坂井輪診療所でも1割ちよつと患者さん減りました。おかげさまで今は普通どおりやっていますけれど、多くのかかりつけ医は赤字です。■そこで赤字の診療所にね、コロナの検査をすれば収入になるよという「飴」をばら下げて、政府の政策の失敗の後始末をさせようという事なのです。10月2日**鼻腔粘液検査**（患者さんに綿棒で鼻の中に2cm入れて5回まわしてもらう検査方法）許可する、PCR検査でもいいし、抗原検査でもいいよと、これなら飛沫もあんまり飛ばないし、かかりつけ医でもできるでしょうと。慌てて国が用意したのがこれです。■鼻腔粘液検査は簡便です。でも本当にそれでいいのか。PCR検査ですらバスタイミングでも90%の感度、平均は70%。鼻腔粘液では20%落ちます。抗原検査ならさらに落ちます。抗原検査（ウイルスがいるかないかを調べる検査）の感度は50%くらいしかないのです。50%の感度なら50%は見逃すということです。■さらに問題は**偽陽性**です。偽陽性というのは、コロナがないのにプラスがでちゃう。PCR検査はそういうことあまりない。遺伝子検査ですからまずない。でも抗原検査は間違えます。その例が西蒲区でありました。西蒲区で抗原陽性がでて県に届け出た。だけどどうも違う。肺炎の治療したらよくなったと PCR 検査をやったらマイナスだったという例がありました。

そういう検査なのです。本当はマイナスなのにコロナの感染症として風評被害がたっちやいます。だから数多くないかもしれないけれど偽陽性は怖いです。それにそもそも感度が5割です。■**新型コロナウイルス**とうたただかうかが、ワクチンをうつということは抗体ができる、抗体ができればいいと思いますよね。違えます。抗体には**3種類**あります。役に立つ抗体と役に立たない抗体があります。役に立たないどころかコロナがわるくなる**悪玉抗体**、どんな抗体があるんですね、ワクチンによってはどの抗体ができるかわからない。■**悪玉抗体**がきたら、コロナ感染後に重症化して死に至るかもしれない。死なないまでも、ものすごい後遺症がでます。あるワクチンで横断性脊髄炎になった例もありました。今のところ原因不明とされていますが、いろいろなワクチンがあります。いままでワクチンといいますが、ウイルスを培養して弱らせてつくる**弱毒の生ワクチン**とか、ウイルスを殺して抗原成分だけにした**不活性化ワクチン**。それらが主流でした。今度は、**遺伝子ワクチン**です。遺伝子ワクチンも山ほどありますが、アストロゼネカのは**ウイルスベクターワクチン**です。これが来春入ってきてみてみようと言われているワクチンです。■**ベクター**って何かって言うと**運び屋**。だからウイルスタンパクの遺伝子を人間の細胞の中まで運ばないといけない、運ぶのにはアストロゼネカがあります。アストロゼネカの場合には**チンパンジー**のアデノウイルスに、人のコロナのSたんぱくの遺伝子を、遺伝子組み換えの技術ではめこみます。だから皆さん方がワクチン打つとチンパンジーのアデノウイルスにかかるんです。そしてヒトの細胞の中でSタンパクの遺伝子の部分

がSタンパクを作ってくれるので、

「**全世代型社会保障」
学習会開催**



■1/15 勤医協まちづくり社会保障委員会主催による学習会。講師には新倉 順さんが講演。40名ほどが参加しました。

～「**75歳以上窓口2割負担反対署名**」～
坂井輪診療所と友の会で**419**筆です
(1/27 現在)

2月予定

3日(水) 事務局会議
10日(水) 幹事会



☆ **ボランティア求めています**

あなたのお力をお貸し下さい

**ニュースの配布と発送作業及び
送迎ボランティアさんもとめています**



それに対する抗体ができてコロナにかからないよって仕組みです。でも大丈夫、チンパンジーのアデノというても強毒ではありません。アデノウィルスが増殖しないように操作をしたウィルスですのでかぜ症状がでるわけではありませぬ。■ファイザー、モデルナのワクチンはメッセンジャーRNA ワクチンです。Sタンパクの遺伝子を脂質の膜にくるんだものです。ウィルスRNA は不安定ですから生体内ではすぐ分解されてしまいます。そこで脂質の膜にくるむことでヒトの細胞にとりこまれやすく加工します。ヒトの細胞の中で、コロナRNA からSタンパクが合成され、免疫の力で「ウィルス中和抗体」つくります。■ いずれのワクチンであっても、問題は悪玉抗体がでさなにかどうか重要です。しかし、わからないのです。本来は、何年もかけて臨床研究重ねて安全なワクチンを確認するという事をやらないといけないのです。■最後にいい話、インフルエンザワクチン、これ何のために打つかというと、インフルエンザの抗体をつくる、成績の良い年で発病が50%くらい減るといわれています、それだけじゃないよというんです。インフルエンザワクチンを打つとコロナにかかりにくい、リスクが下がると、わざわざ子供たちがなぜコロナにかからないのか、なぜ軽いのか、一つの理由が、子供はたくさんさんのワクチンをうっているから、いろいろなワクチンを打っている、ワクチンは抗体をつくれるけれども液性免疫ね、細胞性免疫も高めるんだけど、自然免疫も高めるんです。だから、山中先生が当初言っていたB.C.Gが、B.C.Gは牛の結核ですが、牛の結核がなんでコロナに効くのか、効くわけがないんです。抗体は関係ないんですよ、自然免疫、免疫の基礎になる自分じゃないもの、闘う免疫の基本を高める力が、ワクチンにあるのではないかと、これを訓練免疫と言います。■ あとひとつ、東アジアにコロナ感染が比較的少ない理由、これも仮説ですが**交差免疫**という考え方があります。毎年流行しているコロナが、それと新型コロナウイルスに共通の抗原があるという考え方です。もしそうであれば、中国に近い東アジア人にある程度の新型コロナウイルス抗体があるのかもしれないということです。

■ 基礎疾患がある人ほど死亡リスクが高くなる。これはご存じだと思いますが、たとえば糖尿病だと7倍、これは中国のデータです。しかししっかりと血糖コントロールして、ヘモグロビンA1Cで7%、食後血糖で180クリアすれば自然免疫を担う白血球の免疫力は落ちません。■ コロナと正しく闘うために、年を取るのはいしがない、年を取れば免疫力が老化するのはいしありません。ただ**免疫**を下げない、下がった**免疫**を元に戻す、可能なのかもしれません。免疫力アップの力ギは自然免疫ですね。コロナだけでない。どんな感染症にもね、いろんな病気にも負けない、**基本的な体力**をつけましょっていいことです。■ <補足> 本年(2021年)2月下旬からは医療者、4月には高齢者にワクチン接種が予定されています。ワクチンによる効果の差、副反応の差、いろいろな情報が入りまわっていますが、インフルエンザに対するタミフルのような治療薬がない段階では、ワクチンに勝る予防はありません。どんなワクチン、お薬でも効果と有害事象があります。基礎疾患をお持ちの高齢者は、可能であれば接種したほうが良いと思われます。情報は、随時所長のFBに掲載されます。ご質問、ご意見をお待ちしてます。

(おわり)